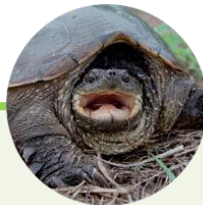


夏休み前に確認！

# 特定外来生物

特定外来生物について理解しよう



## 外来生物って何？

外来生物とは、もともとその地域にいなかったのに、人間の活動によって他の地域から入ってきた生物のことを指します。日本の野外に生息する外国起源の生物の数はわかっているだけでも2000種にもなります。

この多くは、ペットや観賞用、釣り、食用などの目的で人間に持ち込まれたり、貨物や船などに付着して気付かないうちに運ばれてしまったものです。

## 外来生物の何が問題なの？

外来生物が、捨てられたり逃げ出したりして野外で繁殖を始めると急速に増えて拡がってしまうことがあり、その中には地域の自然環境に大きな影響を与え、生物多様性を脅かしたり、人の生命・身体、農林水産業へ被害を与えたりする生き物もいます。

しかし、一度増えてしまった外来生物を駆除することはとても困難であり、多くの金額と時間と労力が必要となります。

そこで、外来生物問題を引き起こさないため、私たちは、外来生物を「**入れない、捨てない、拡げない**」の三原則を守ることが重要です。

## 外来生物被害予防三原則

- 1 **入れない** ～ 悪影響を及ぼすかもしれない外来生物をむやみに日本に入れない
- 2 **捨てない** ～ ペットとして飼っている外来生物を自然の中に捨てない
- 3 **拡げない** ～ 自然の中にいる外来生物をほかの地域に拡げない

## 外来生物にはどんな規制があるの？

外来生物のうち、特に生態系や人の生命・身体、農林水産業に重大な被害を及ぼす恐れのあるものは、外来生物法\*により「**特定外来生物**」に指定されています。特定外来生物は、飼育・栽培・保管・運搬・輸入・譲渡(販売)すること、野外へ放つ・植える・種をまくこと等が原則禁止されています。

\*特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律

## 白井市で確認されている特定外来生物



①カミツキガメ



②オオキンケイギク



③ナガエツルノゲイトウ

# ①カミツキガメ

## カミツキガメとは？

水生植物や沈水木などがある環境を好んで生息し、夜行性で早朝や夜間には岸や沈水物に沿って活動し餌を探查します。

様々な生物を捕食するため、生息地域では魚類や両生類等に大きな影響を及ぼすことが考えられます。

十数年前まではペット用に大量に流通しており、安価で販売されていましたが、飼育は容易であるものの、大型に成長し攻撃的になるため、飽きられたり持て余されたりして捨てられたものが数多くいます。



## 白井市におけるカミツキガメ

発見日	発見数	発見場所
H23/6/28	1	神崎川流域・神々廻坂下付近の木下街道沿い草地
H25/5/31	1	神崎川流域・七次台2丁目付近
H25/6/24	1	神崎川流域・七次台2丁目付近
H28/5/11	1	神崎川流域・野口橋付近
H28/5/11	1	神崎川流域・清水口3丁目七次川調整池付近
合計	5	

## 危険！

カミツキガメは気性が荒く、その動きは俊敏です。水中では人影が見えると逃げますが、陸上にいるときは警戒心が強く、目の前に近づいたものに対しては自分を守るため、瞬時にかみつこうとする習性があります。決して、手を出したり、捕まえたりなど、自分で対応しないでください。

もし見かけた場合は市環境課までお知らせください。

# ②オオキンケイギク

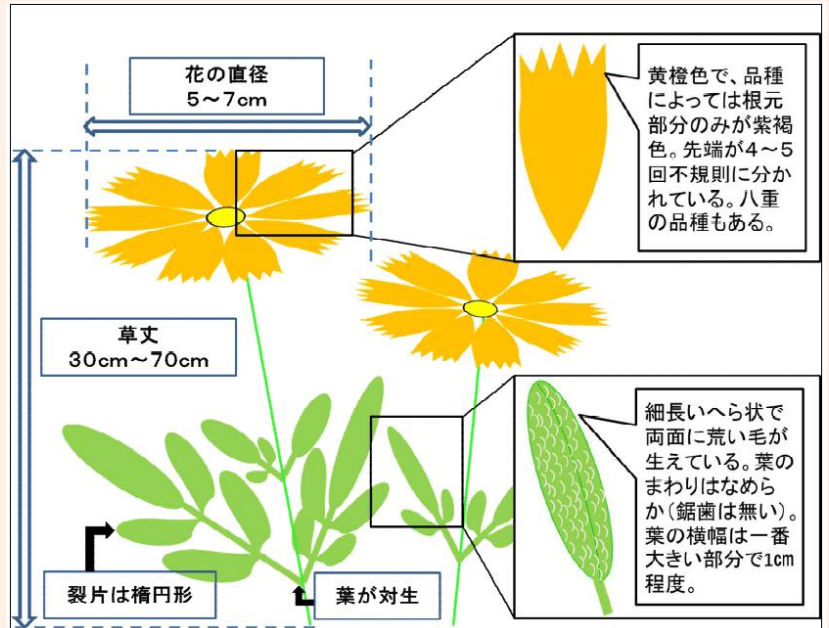
## オオキンケイギクとは？

5～7月頃にかけて、直径5～7cmの鮮やかな黄色の花をつけるオオキンケイギクを市内の道端などで見かけます。

このオオキンケイギクは、日本の生態系に悪影響を及ぼす恐れがある植物として、平成18年に環境省が「特定外来生物」に指定し、栽培、運搬、販売、野外に放つことなどが禁止されています。

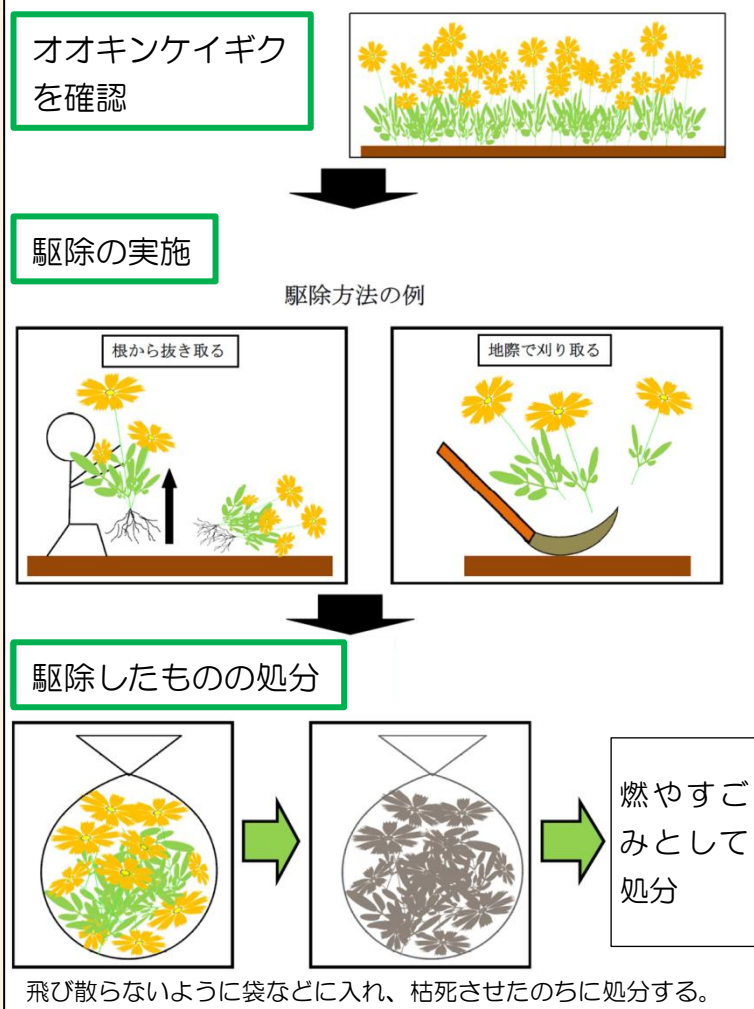
きれいな花だからといって、持ち帰ったり、園芸用として庭などで栽培しないよう注意してください。

庭などで生育しているのを見つけたら飛散に注意しながら抜き取りましょう。



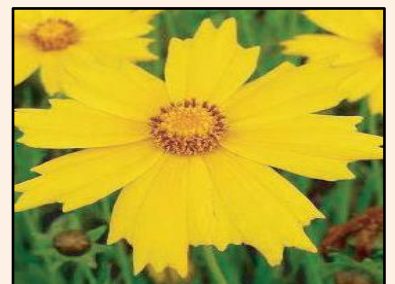
## 防除について

### オオキンケイギクの生育を確認した際の対処方法



### ○駆除するときの注意

- できるだけ根から掘り起こして駆除し、その場でごみ袋に入れて、枯死するまで数日放置し、枯死したら可燃ごみとして出してください。なお、外来生物法により、駆除した草の生きたままの運搬は禁止されています。
- 種子をつける前に、根ごと抜き取ることが効果的で、地上部分を刈り取っただけでは、翌年また同じ場所に生えてきます。
- オオキンケイギクは多年草のため、種子もある程度地中で生きたまま残る植物です。そのため、前年オオキンケイギクがあった場所には、翌年も発生する可能性が高いと考えられます。
- 自宅で焼却したり、埋めたりすることはしないでください。



## ③ ナガエツルノゲイトウ

### ナガエツルノゲイトウとは？

水辺の湿った環境に生える多年草で、茎の下部が水没していることもあります。茎の長さは1m以上にもなり、基部は横に這いながら枝分かれし発根します。茎切片による栄養繁殖がきわめて旺盛であり、特に、日当たりの良い肥沃な条件下では、急激に増殖します。

現在印旛沼で群落を拡大しつつあり、今後の異常繁茂と抑制対策の必要性が予想されています。

ナガエツルノゲイトウが繁茂すると、河川においては、マット状に広がることで水流等を阻害し、水田においては、農業被害を及ぼす場合もあります。

### 防除について

ナガエツルノゲイトウは、前述のとおり繁殖力が大変強く、植物体の一部・葉の欠片からでも植物体が再生する能力を有していることから、ナガエツルノゲイトウを駆除しようとした場合は、根を残さず葉茎を散らさないように丁寧に駆除する必要があります。



## 外来生物との付き合いかた

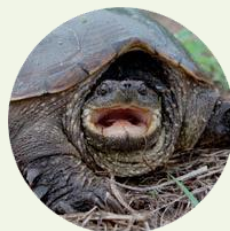
### 外来生物を増やさないために

外来生物として問題となっているものの中には、ペットとして輸入されたものが、捨てられたり逃げ出したりしたものが数多くいます。そのため、生き物を飼う場合は、飼う前に特徴や生態をよく調べて、最後まで面倒を見ることが大切です。

飼えなくなったり、増えすぎたりした生き物を、野外の川や公園などに放してはいけません。また、飼っている生き物が野外に逃げ出さないように注意しましょう。

### ※飼う前によく調べましょう

- 大きくなって飼いきれなくなることがあります
- 気性が荒くなる生き物がいます
- 何十年も生きる生き物がいます



白井市 環境建設部 環境課 環境保全・放射線対策班

TEL：047-492-1111 (内線 3288) / FAX：047-492-6377 / E-mail：kankyuu@city.shiroi.chiba.jp

外来生物についての詳細は下記ホームページをご覧ください。

☞環境省ホームページ「外来生物法」 <https://www.env.go.jp/nature/intro/index.html>